

授業科目 臨床栄養学I			科目コード番号	
【担当教員名】 山本通子	対象学年	2	対象学科	栄養
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【概要及び学習目標】				
<p><概要></p> <p>食物や栄養は病気の予防および治療の面で非常に重要である。臨床栄養学 I は臨床栄養学II、III、そして臨床栄養学実習と続く一連の科目の入門と位置づけられる。本科目の学習を通して、1年時および2年前期で履修した一般臨床医学関連科目の理解を確実にするとともに、より専門的・具体的な臨床栄養学の理解に発展することをめざす。</p> <p><学習目標></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 病気の予防および治療における臨床栄養学の位置づけと現状を理解する。 2. 基本的医学用語の意味や概念を説明できる。 3. 各種臨床検査の目的を理解し、主要な検査の結果を解釈できる。 4. 臨床検査と関連する検査食や食止めの具体例を列挙し説明できる。 				
回数	学習の主題	学習内容		学習方法
1	臨床栄養学総論	病気の発症と栄養（予防医学的栄養学）、病気の治療と栄養（治療医学的栄養学）についての概略を学ぶ。		講義
2		臨床栄養学の歴史、現状、将来について理解を深める。		
3	臨床医学の基礎知識	臨床医学関連科目で既に学んだ基礎的知識を整理し、正しい理解を確認する。		テスト、講義 講義
4		同上		
5	生活習慣病と食事・栄養	代表的な生活習慣病について、その予防と治療における食事・栄養の意義を学ぶ。		講義 レポート 課題発表 講義
6		学生による発表とまとめを行う。		
7				
8	臨床検査の総論	各種臨床検査の種類・目的・検査方法を総論として理解する。 正常値、異常値、基準値の意味を理解する。		講義
9	臨床検査の各論	血液学的検査：血算、血沈、骨髄検査など。免疫学的検査。		講義
10	1. 血液を用いる検査	肝機能検査。腎機能検査。電解質検査。糖・脂質代謝検査。		レポート
11		ホルモン、主要マーカーなど		
12	2. 血液以外の検体検査 機能検査と画像検査	尿検査（随時尿と蓄尿）。便検査。髄液その他。		講義
13		呼吸機能、心機能、神経系の検査		
13	検査食、食止め	臨床検査と関連する検査食や食止めの具体例を学ぶ。		講義
14	食欲と食欲不振	食欲の調節機序 食欲不振の原因		レポート 講義
【評価方法】				
出席状況、授業中の態度、レポートの内容、定期試験成績から総合的に評価する。				
【履修上の留意点】				
2年前期で臨床医学科目を学習しているので、それらの知識を確実にしながら臨床栄養学の理解につなげていくようにする。 各時限の授業内容に関連しそうな事項の予習を、既習科目の復習という形で行ってほしい。				
【使用図書】				
教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	特に指定しない。			
参考書				
その他 (プリント等)				